

第3回相馬港復旧検討会 議事概要

日時等：令和4年5月31日（月）10：00～12：00（WEB）

1. 主な議事

- 事務局（東北地方整備局及び福島県）より、被災状況に係る追加調査結果を踏まえた被災メカニズムや復旧方針案等について説明した後、構成員による意見交換を行った。

2. 主な意見

（3-1 岸壁）

- 当初設計当時の考え方を踏まえ、設計震度が与条件であり復旧断面はこれを満足させる必要があること、また、その復旧断面において地震時応答解析（FLIP）の結果、レベル2地震動に対する耐震性能を満たしていることを確認した。
- 再度災害防止の観点から、ケーソン背後端部と背後地に目地を設ける案については、復旧資材となる砕石の確保が一番重要であるため、検討願いたい。

（矢板式岸壁）

- GNSSによる変位量を踏まえて矢板の耐力評価をするのが良いのでは。
- 新たな矢板を設置する場合、適合させる技術基準および液状化対策の必要性について検討する必要がある。

（その他全般）

- 復旧方針については異存ない。

3. まとめ

- 復旧方針については、今後事務局で細部調整を行い、公表。
- 復旧検討会は今回をもって終了。

以上